

## 結成アピール

私たちは、日本の運輸・サービス関連会社で働く仲間と共に未来を見据え、「新たな労働価値を創造する」ために、日本輸送サービス労働組合連合会を結成した。

時代は大きな転換点を迎え、行き詰まる経済成長の中にあっても、これまで以上に「株主優先主義」のもとで利益のみを追求する考えと、他方、働く者の利益を優先する「人本主義経営」という対極をなす考えが両立している。私たちが働くJRグループにおいても「変革2027」のもと、目先の利益のために過度なノルマが課せられ、生産性を上げるために、働く者が駒のように扱われている。その中で「不当労働行為」という企業犯罪をはじめ、労働者の人権を無視した「差別」や「格差」が常態化し、社会全体が疲弊しているという現実を直視しなければならない。

私たちは、仲間たちの企業犯罪を許さない正義感と勇気に学び、結集した多くの組合員の英知によって新しい労働者の価値観を創造していくと共に『新しい時代を創る』という立場から、「人間尊重企業」を訴えて仲間と家族の幸せを実現しなければならない。

世界に目を向ければ、GMで働く労働者が「労働協約がなければ働くことはできない」と、40日間のストライキに入り、新労働協約を会社と締結した。そして、16歳の女子高校生が国連の気象サミットで、各国首脳の前に「絶対に皆さんを許しません」と宣言した。労働者が蔑ろにされ、地球環境が破壊されていく中で、声を上げ行動する姿勢に、世界中から賛同する声が響き渡っている。

私たちは、世界中で「人間尊重」を掲げ、たたかっている仲間たちと手を繋がなければならない。そのために、身近なJR東日本グループで働く組合員と家族、更には個人加盟する仲間の幸せのために、“政策実現集団”を目指していく。そして、輸送サービス労働ビジョン「スタート2024」を政策づくりの土台として結集する仲間たちと創造していく。その創造力こそ、これからの新たな労働価値を導くことができ、実現に向け努力を惜しまない私たちの姿勢は、国連が推奨する「人権」と「地球」を尊重する「SDGs=（持続可能な開発目標）」に労働者の視点から賛同することができるだろう。

私たち「日本輸送サービス労働組合連合会」は結成にあたり、“政策実現集団”として「総合労働政策」の実現に向けて邁進していく。今後、多くの仲間とのクリエイティブな関係を基礎に、「政策」を創り上げ、すべての仲間が安心して暮らせる社会の実現のために行動する。そして、労働運動の「灯」が消えてしまい兼ねない中であっても、労働者の新たな未来を切り拓き、豊かな地球環境を守り引き継ぐために、その先頭になって私たちの進路を指し示そう。

2020年2月22日  
日本輸送サービス労働組合連合会結成大会